

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県 毛呂山町

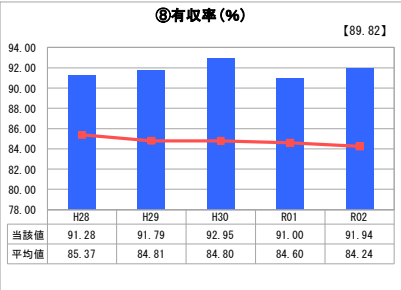
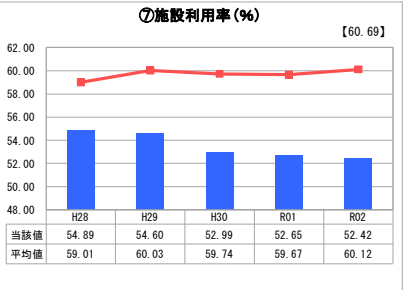
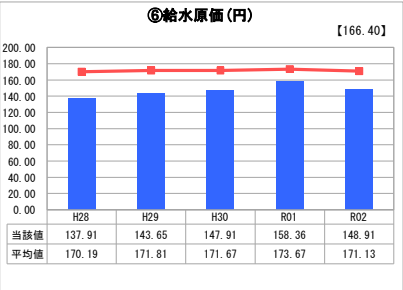
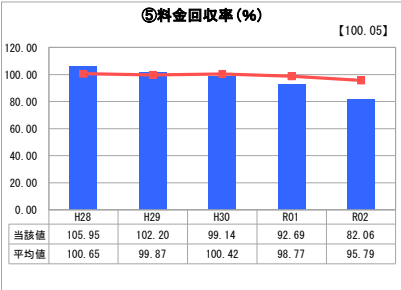
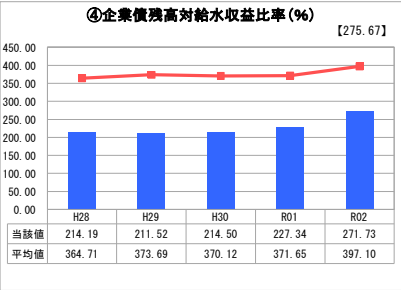
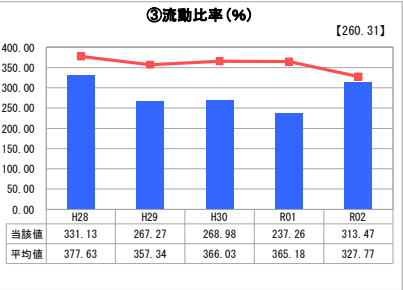
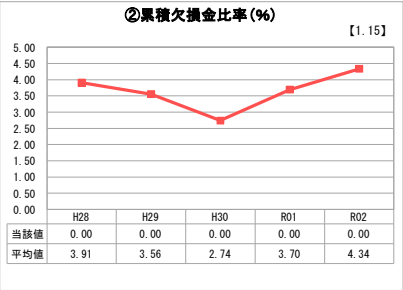
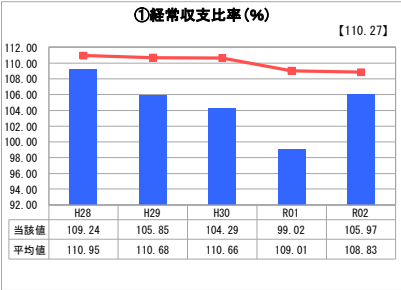
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.99	99.77	2,167	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,178	34.07	973.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,004	24.20	1,363.80

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



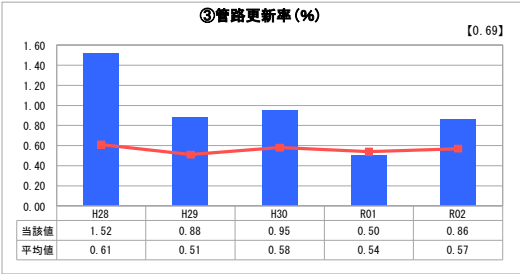
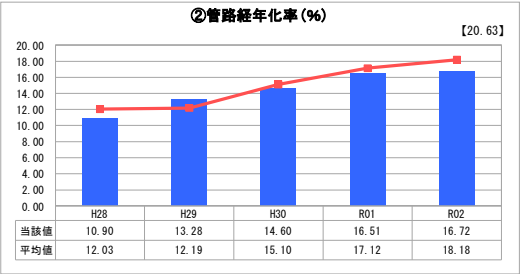
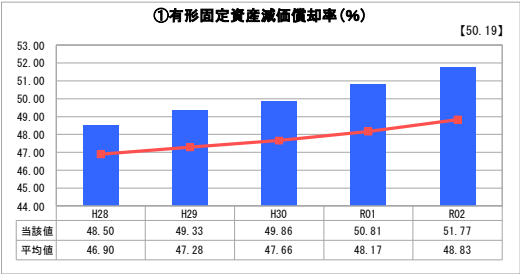
1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%以上となっており、単年度の収支が黒字である。前年度より改善されている。
- ③流動比率
類似団体とほぼ同水準であり、100%を大きく上回っており、短期的な債務に対する支払い能力は確保されている。
- ④企業債残高対給水収益比率
給水収益が減少しているにもかかわらず費用が削減できていないことによる。料金改定を実施したため、改善する見込みである。
- ⑤料金回収率
100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益で賄えないことを示している。これは、給水収益が減少しているにも関わらず費用が削減できていないことによる。料金改定を実施したため、改善する見込みである。
- ⑥給水原価
有収水量1㎡あたりにかかる費用を示すもので、前年度と比較して9.45円低下しており、類似団体平均値を下回り低水準である。
- ⑦施設利用率
一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、類似団体平均値を大きく下回っており、施設規模に対して効率的に利用できていない状況である。施設のダウンサイジングの検討を行う必要がある。
- ⑧有収率
類似団体平均値を大きく上回っている。今後も、この水準を維持できるよう努める。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。類似団体平均値、全国平均値と同様に年々上昇しており、施設や管路の老朽化が進んでいる状況である。
- ②管路経年化率
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示している。類似団体平均値を下回っているが上昇傾向にあるため、積極的に老朽管の更新を実施していく。
- ③管路更新率
前年度と比較して改善している。料金改定を実施したため、更に積極的に更新事業を実施する。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少や節水機器の普及により給水収益が減少し、施設の更新事業の財源の確保が厳しいため、20年ぶりの料金改定（値上）を令和3年10月に実施した。

このことにより、老朽化した施設の更新を積極的に進める予定である。特に管路で多く残っている石綿セメント管の更新を早急に行い、将来にわたり安心安全で安定的に水を供給できる経営を維持していく。また、施設のダウンサイジングの検討も行い、適正な施設規模となるよう努める。